

蠟梅 Now

年明け早々の1月6日、当法人のシンボルツリー「蠟梅」に2輪の開花が見られた。

当法人は2004年4月に小山基金を母体に設立し、その記念として多額のご寄付を頂戴した小山様に縁の「蠟梅」を神戸総合技術研究所内に植樹した。土壌が粘土質のため事前に改良を施したが、ほぼ5年が経過して、背丈の伸びは今ひとつの感である。それを補うかのように、シーズンには健気ながらも晴れ姿の披露を忘れたことはない。

振り返ってみると、植樹直後の開花時期には気を揉んだもので、2005年は2月23日頃と移植の影響があったのか遅い開花であった。以降は、2006年が1月23日頃、2007年が1月18日頃、2008年が1月15日頃そして今年は冒頭のように昨年より10日ほど早い開花となった。わずか5年間の推移で即断はできないが、進行する地球温暖化の影響を意識せざるを得ない。

中国やインドの大河の源流に当たるヒマラヤの氷河は温暖化の影響で年々縮小しており、短期的には河川の水量を増やすが、氷河の縮小に伴って大河を十分に潤すことができなくなり、やがて干上がってしまい干魃の危機に見舞われかねないというシミュレーションがあるという。あまり知られていない新たな負の側面が浮き彫りになろうとしている。

地球温暖化の元凶の一つといわれるCO₂の削減対応に一定のコンセンサスが得られ始めた矢先の世界的金融危機の勃発により、経済面の閉塞感に一段と拍車がかかり混迷が深まりそうな状況にある。しばらくは光明が望めそうにないのだろうか・・・。



《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸
事務局長 大森 信
〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町 4-2-7
TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)
E-mail : info@npo-ftfk.or.jp
URL : <http://www.npo-ftfk.or.jp>